

# 迎春

## 国民が主役の平和で安心して暮らせる1年に



発行所 国鉄労働組合  
盛岡地方本部  
発行者 齋藤 庄司  
編集者 沢田 光広  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス  
numori@poem.ocn.ne.jp

2013.1.10  
第1453号

### 新年 特集号

世界遺産・中尊寺<作成2012年8月>松山剣司(鉄道退職者の会盛岡地方連合会事務局長)

### 年頭あいさつ

## 要求獲得、諸課題解決に向け 組織拡大と組織力の強化を

地方本部執行委員長

齋藤 庄司



新年を迎え組合員・家族の皆様  
様に地方本部執行委員会を  
代表しまして、年頭のご挨拶  
を申し上げます。

を絶たない中で野田首相は昨  
年11月16日に衆議院解散を宣  
言し、師走の総選挙に打って  
出ました。

12月16日投票で闘われた  
衆議院選挙は、3年前308  
議席を獲得した民主党は、57  
議席まで減らして惨憺たる結  
果となりました。他方大勝し  
た自民党は過半数を大きく上  
回り、タカ派と言われる安倍  
首相による右翼的な政権運営  
が懸念されます。平和憲法の  
改憲を始め原発推進・消費税  
増税・隣国との友好関係など  
この国の指導者として政権運  
営に不安を感じます。今年7  
月に行われる参議院選挙では  
大きく右旋回しそうな政治を  
真に国民が主役の平和で安心  
して暮らせる日本にするため  
反戦・平和・護憲・原発発  
TPP反対・消費増税反対を  
訴える勢力拡大に向け、年頭  
から準備する事を訴えます。

昨年、東日本大震災の復  
興元年としてスタートを切り  
ましたが、振り返れば被災地  
の人々の期待とは裏腹に、瓦  
礫処理を始め中々被災地の生  
活再建は思うに任せず、更に  
東電福島第1原発事故が収束  
していない中で政府による  
収束宣言や復興予算の目的外  
使用、そしてマスコミを巻き  
込んだ電力不足宣伝で、大  
飯原発3・4号機を再稼働さ  
せ、また近隣諸国とは領土問  
題で関係が悪化し、更に日米  
安保を理由に欠陥機オスプレ  
1の米軍普天間基地強行配備  
など、2009年に政権交代  
し誕生した民主党は次々と国  
民の期待を裏切る政策を進め、  
最後は自公との談合で消費税  
増税法案を通し、離党者が後

次には我々JR職場を取り巻  
く状況についてですが、アウ  
トソーシングが次々と進めら  
れ60歳以上の再雇用者を含め  
そこに出向して働く組合員も  
多くなってきています。そし  
てそのグループ・パートナ  
ー会社の賃金を含め労働条件が

劣悪である事も報告されてい  
ます。またJR職場では国鉄  
組が半数になっている職場も  
あり、会社が進める人材育成  
や技術継承について「現場教  
育を中心にして人材育成する  
べきだ」と言う心配の声が多  
く寄せられています。今後  
我々国労として、JR本体は  
もとよりグループ・パートナ  
ー会社を含めた労働環境・労  
働条件向上に向け、現場の声  
を集約しながら東日本本部と  
連携して、課題解決に早急に  
取り組んで行かなければなり  
ません。更には、2013年  
問題(年金報酬比例分支給年  
齢の引き上げ)についても、  
年金問題は政府の問題と理解  
しつつも会社として無年金に  
なる60歳以上のエルダー社員  
に対し、生活に困らないよう  
早急に対応を求めて行かな  
ければなりません。要求獲得・  
諸課題解決には、何と  
も組織力です。そのため組織  
拡大は喫緊の課題である事は、  
全組合員の一致した認識です。  
昨年末エリア本部主催で開催  
した全分会長会議で確認した  
ことを全組合員で取り組む事  
を改めてお願いします。また  
昨年から実施された新人事賃  
金制度や検修外注化について  
も施策の検証をして、問題点  
は改善して行かなければなり  
ません。

被災線区の復旧を始め課題  
は山積していますが課題解決  
に向け先頭に立って闘う決意  
を申し述べ、年頭の挨拶とし  
ます。

### <本年もよろしくお願ひします>

#### 地方本部役員

執行委員長 齋藤 庄司 (盛岡運輸区分会)

執行副委員長 阿部 一久 (八戸運輸分会)

執行副委員長 小林 良宏 (盛岡施設分会)

書記長 佐々木 力 (盛岡施設分会)

執行委員 沢田 光広 (八戸工務分会)

執行委員 菊池 要悦 (盛岡施設分会)

特別執行委員 佐々木 研司 (盛岡駅連合分会)

特別執行委員 佐々木 政志 (青森運輸分会)

特別執行委員 小野寺 京子 (関運輸分会)

特別執行委員 高橋 伸二 (元北上工務分会)

特別執行委員 浦山 正年 (元北上駅連合分会)

会計監査員 高橋 亮一 (北上駅連合分会)

会計監査員 山川 治 (青森運輸分会)

会計監査員 小笠原 勝豊 (盛岡駅連合分会)

#### 地方本部書記・職員

遠藤 忍 正

西館 佳三

三浦 千恵子



# 新年明けましておめでとうございます



組合員並びにご家族の皆様、  
新春を穏やかに迎えられました事とお慶び申し上げます。

## いのち・暮らし・平和を守る 闘いへさらなる結束を

盛岡地方議員団  
団長 木村 幸弘

国鉄闘争の闘いを経て、新  
たなる組織発展への運動が求  
められる時にあたり、連合運  
動の行き詰まり感と、今日の  
社会と政治情勢の中に、労働  
運動の原点として、労働者の  
諸権利復権という闘いの再構  
築が問われており、国労が闘  
いの先頭に立つことが、組織  
拡大への展望を切り拓くもの

と確信しています。  
さて、昨年末の総選挙では、  
民主党政権壊滅と自民党をは  
じめとする改憲勢力の台頭と  
いう、最も危惧していた結果  
となりました。  
憲法9条改正による国防軍  
設置と集団的自衛権の行使容  
認など、自民党政権の暴走を  
何としても食い止める闘いが、  
今夏の参院選に託されます。  
また、脱原発、消費税増  
税、反TPPの闘いなど、命  
暮らし、平和を守る闘いは、  
地域から再結集を図る取り組  
みが重要となっており、私ど

も国労議員団もまさに市民や  
地域との絆を原動力として、こ  
うした政治課題に全力で取り  
組んでいかなければなりません。  
本年もあらためまして、皆  
様のご支援ご協力を、宜しく  
お願い申し上げます。  
◇  
【地方議員団】  
木村 幸弘(岩手県議)  
久保 孝喜(岩手県議)  
阿部 一男(花巻市議)  
星 敦子(北上市議)  
山崎 道夫(矢巾町議)  
齋藤 憲雄(青森市議)



新年明けましておめでとう  
ございます。  
昨年末の総選挙により自民

## 私たちは、労働者・生活者に 陽のあたる政策を求めます

平和環境岩手県センター  
議長 豊巻 浩也

党が多くの議席を獲得し、安  
部晋三内閣が誕生しました。  
安部晋三首相は、06年には「愛  
国心」を強制する教育基本法  
を制定し、翌年にかけて国民  
投票法や教員免許更新制度な  
ど17回にわたる強行採決を行  
っています。今度の安部政権  
は、その政権の復活であるば  
かりでなく、12年4月に発表

された日本国憲法「改正案」  
では「国防軍を設立」し、  
日米同盟の強化による集団  
自衛権の行使も打ち出して  
います。まさに日本国憲法  
の理念が問われる情勢とな  
っています。  
私たち、平和環境岩手県  
センターは、昨年12月1日  
に第23回定期総会を行い、  
2013年度総会スローガ  
ン「平和憲法の理念を活か  
し、平和と環境、基本的人  
権と民主主義を守り発展さ  
せるために、すべての労働  
者・生活者との連携を強め、

地域に根ざした運動を展開  
では「国防軍を設立」し、  
「TPP参加」「日米同盟強  
化」「公務員賃金の引き下げ」  
など、これからの生活に大き  
く不安を感じます。私たちは、  
労働者・生活者に陽のあたる  
政策を求めます。また、東  
日本震災からの早い復興を  
求めます。「さようなら原発」  
に結集した市民の声に応え、  
脱原発・再稼働阻止の運動  
を強めていきます。  
皆さまのご健勝とご多幸  
を祈念申し上げます。新年のご  
挨拶といたします。



巳

## 今日の現状を鑑み、より一層の 高齢者運動の前進を図りたい

鉄道退職者の会盛岡地方連合会  
会長 高嶋 昭一



私達の組織を取り巻く現状を  
申し上げ、一層のご指導とご協

力をお願いいたします。「鉄道  
退職者の会」は、昨年で40年を  
経過しました。思えば1972  
年9月に「国鉄退職者組合連合  
会」として発足。その後、分割  
民営化政策が強行される中、国  
鉄とJRとの退職者が一体と  
なる組織へ変遷を余儀なくさ  
れ現在の名称となりました。

この間、日本労働運動の引  
率の役割を果たしてきた国労  
組合員OBとして会員一同  
誇りを持って組織に結集し、  
高齢者の生存権を守るため  
運動を展開してありますが、  
なにより高齢者組織ゆえ  
「歳」にはかたず運動の領  
域も狭まる一方です。しか  
も毎年100名に及ぶ会員  
が他界するという実態はい  
わすれが、組織減少の一  
途を辿っています。  
また、物価下落時に特別措  
置として据え置かれた2・5

%の減額や今後、デフレ下で  
のマクロ経済スライド制の導  
入で年金の減額や社会保障  
の高負担、低福祉を強いてく  
ることは容易に想定できませ  
ず、更に、平和憲法を改悪し、  
国防軍や集団自衛権の行使、  
非核三原則を放棄するなどと  
核兵器保有論がまことしな  
やかに吹聴されています。こ  
の現実を鑑みれば、より一層  
組織の拡大との高齢者運動の  
前進を図ることが喫緊の課題  
と考えます。宜しくお願いい  
たします。



新年明けましておめでとうご  
ざいます。  
国鉄労働組合盛岡地方本部に

## 原発の廃炉、反戦・平和・ 護憲を掲げて闘っていきこう

青森県平和推進労働組合会議  
議長 江良 實

おかれましては、青森県平和  
労働組合運動の中で、国労青  
森支部阿部一久執行委員長を  
はじめ青森県内で中心的役割  
を担って頂いていることに心  
からお礼申し上げます。  
昨年は第46回衆議院選挙が  
あり、民主党が歴史的惨敗を  
期し、自民党が単独過半数を  
獲得し大勝を果たしました。未

さらに日本維新の会の国政進  
出で、「憲法改正」戦争をで  
きる国へとこれからの政  
治が大きく右寄りへ傾斜し、  
私たち労働組合にとって非  
常に厳しい時代に入ります。  
こととなりました。201  
3年も政治決戦の年であり  
ます。7月予定の参議院選  
挙で社民党「又市征治」副党  
首の当選に向けて組織の総  
力を上げて闘います。  
また、東日本大震災から  
2年目を目前にしながら復  
興・復旧が進まない中で、東  
京電力福島原発事故は未

だ収束されていません。今  
なお16万人の福島県民の  
方々が避難生活を余儀なくさ  
れています。また、福井県の  
敦賀原発、大飯原発、青森県  
東通原発直下に「活断層」が  
あることが指摘されています。  
一刻も早くすべての原発を廃  
炉にしていかなければなりません。  
また、青森県六ヶ所村再処理  
工場稼働阻止、消費増税反対、  
TPP交渉参加反対、オスプ  
レイ配備反対と本年も反核・  
脱原発・反戦・平和・護憲を  
掲げて闘っていきます。  
◇

## 「扶助」の精神で皆さまの 負託に応えるべく頑張る

交通共済協会日本事業本部東北支所  
事業副部長 太田 博二



組合員の皆様、新年明け  
ましておめでとうございます。  
東日本大震災からの復興  
がようやく緒に付いたとい  
う状況下で、また新しい年  
がやってきました。

昨年の晩秋に被災地であ  
る宮古、田老、女川、南三陸、  
気仙沼などを見ました。  
が、いまだに瓦礫が山のよ  
うに積み、被災爪痕が  
生々しく残り、復興にはま  
だまだ気の遠くなるような  
時間と精神力が必要だと感  
じてまいりました。  
いまだ生活の再建にご苦  
勞されている組合員の方々  
に引き続き連帯のメールを  
送ります。  
昨年5月に東北支所をお  
預かりして以来、国労盛岡

地方本部の皆様にはとても  
親しくさせていただきまし  
た。交通共済協会へのご協  
力を改めて感謝申し上げます。  
お陰さまで、組合員の  
減少という厳しい環境下  
にある支所ですが、全国に見  
ても良い成績を収めること  
ができています。  
交通共済協会は、東日本  
大震災の教訓を生かし、こ  
れから発生するであろう大  
地震に備え、迅速で的確な  
対応を可能とする業務態勢  
を目指しています。また、交  
運共済を取り巻く政治的な  
環境は、生協法の改正やTP  
PPへの参加の懸念など厳  
しいものがありますが東日  
本大震災を機会に「扶助」の  
精神と「共済」の重要性をさ  
らに広め、皆さまの負託に応  
えるべく頑張っております。  
ので引き続きよろしくお願  
いいたします。今年が皆様に  
とってより良い年になりま  
すよう心から祈念し、年頭の  
ご挨拶といたします。  
2013年1月1日

## 2013年 躍進旗開き

【社会民主党岩手県連合 合同】  
平和環境岩手県センター

とき 2013年1月14日(月)  
16時~  
ところ サンビル7階ホール(盛岡市)

【社会民主党青森県連合 合同】  
青森県平和推進労働組合会議

とき 2013年1月15日(火)  
18時~  
ところ 青森県労働福祉会館(青森市)

=平和環境岩手県センター・  
青森県平和推進労働組合会議に結集しよう=